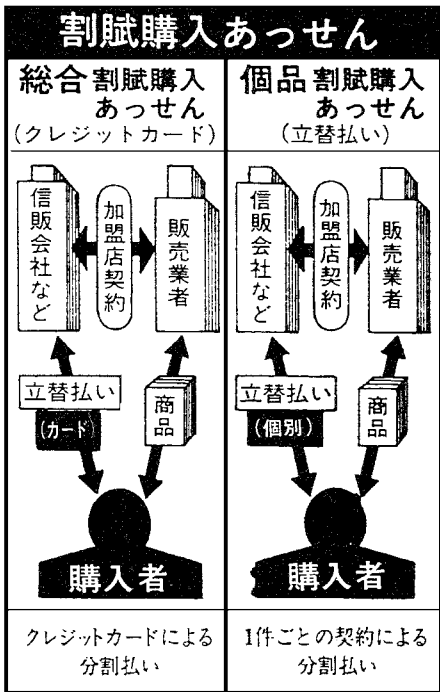


訪問販

クレジットカードは借金カード!

売シリーズ



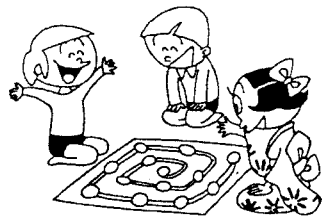
悪質商法による若者の消費者被害が後を絶ちません。クレジットカードは借金カードになる可能性があります。街を歩けば、いろんな素敵なモノが目にとび込んできます。思わず取り出してしまったカード、でもチョット考えて下さい。カードを使うのは、魔法の杖を一振りするみたいなので、とてもペナリですが、実は、カード会社があなただけのつかったカネを立て替えてくれているにすぎないのが現実です。自分の支払える額を冷静に見極めて!! カード!! を使うようにしましょう。

問合せ 市民課市民生活係  
☎(43)11111

子供会シリーズ (6)

幼児期の遊び

「今鳴いた鳥がもう笑う」



幼児期の遊びは子どもが集団に入る為にも、成人になる為にもなくてはならないものです。この時期に遊ぶことができることは大切であり、もし遊ぶことを体で覚えないうと発達上問題がでてくるのです。その一つは子どもの情緒が変化しないということ。情緒とはどういうことをいうのでしょうか。幼児の始めのころは、今まで機嫌よく遊んでいたかと思うと、すぐ怒ったり、泣いたりします。それも長くは続かなくて、又ニコニコ笑うのです。「今鳴いた鳥がもう笑う」というような様子が続くのです。このように心が興奮したり、ゆり動く状態・体験を情緒といつてよいでしょう。

このような情緒は年齢が進むにしたがって変化していき

ます。泣いたり、笑ったり、怒ったりすることが少なくなつてきます。その変わり怒つたりするとその時間が長くなつてくるのです。このような情緒の変化はどうして起こるのでしょう。

これは子ども同志の遊びや大人との接触によると思えます。その原因は、一に大きな表現をしても要求を入れられることは少ない。二に怒ったり、泣いたりしては大人や友達から笑われたり、非難されたり、仲間はずれにされたりする。三この時期はことばの量も多くなり身体で表現する必要がなくなつていくことがわかる。このようなことが判つて次第に情緒が変化していくと思えます。

だから子どもは遊ぶことによつて情緒が変化するといつ

てもよいでしょう。これはお説教をしたから変わるというものではありません。人間と人間の関係は体で覚えること以外に方法はありません。だから幼児期に遊ばせない、情緒が変化しないのです。特に大人ばかりの集団の中で育つと情緒の発達がおくられてしまつてしまいます。

教育相談室  
☎(43)11111